

ひるば

平成30年3月発行

【編集・発行】

大分県公民館連合会

大分市府内町3-10-1

電話 097-506-5561

第39回全国公民館研究集会大分大会 第68回九州地区公民館研究大会を終えて



大分県公民館連合会会長
(大分大会実行委員長)

中野 五郎

昨年8月24日(木)から25日(金)の二日間にわたり本県で開催しました第39回全国公民館研究集会大分大会・第68回九州地区公民館研究大会から、早いもので七か月が経過しました。平成28年度から全国大会と九州ブロック大会が合同開催することになり、「全国」の冠が付くことになりました。この度の大分大会は前年度の宮崎大会に続き新方式で行う二回目の大会となり、全国から参加を募ることができました。今回の大会テーマは、「地域に求められる学びをつくる公民館活動」『自ら考え、行動する住民を支援する』公民館とは」としました。

このテーマには、今日の人口減少社会の到来により、私たちが取り巻く地域社会が大きく変容しようとする中において、改めて社会教育には地域の課題解決ができる人材育成が期待されており、これまで以上に公民館がその中核的機能を担っていかなければならないという想いが込められています。

大会初日に行われました八つの分科会では、今回の大会テーマに沿った優れた実践事例ばかりであり、御参加いただいた皆様にとりましては、多くの学びや気づきを得ることができたものと信じています。

また、大会の二日目に行いました記念講演では、矢野大和氏をお迎えし、ユーモアたっぷりの話の中にも、日々の公民館運営や活動を行う上で忘れてはならない人権尊重の精神を喚起する多くの示唆に富んだ講演で、大変な好評を受けました。

おかげをもちまして、二日間で千八百名を越える関係者の皆様に御参加いただき、盛況の内に無事終了することができました。

結びに、実行委員並びに大会期間中の運営協力者として御支援・御協力いただきました県社会教育課、市町村公民館主管課、各公民館職員の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、今回の大会を契機に、公民館活動の一層の充実と発展に向けた取組をお願い申し上げます。



第39回 全国公民館研究集会大分大会 第68回 九州地区公民館研究大会

実施概要
ご協力ありがとうございました

1. 大会テーマ 「地域に求められる学びをつくる公民館活動」
～『自ら考え、行動する住民』を支援する公民館とは～
2. 期 日 平成29年8月24日(木)～25日(金)
3. 大会日程
 - 第1日(分科会)
「地域づくり」「家庭教育支援」「高齢社会への対応」「人権教育」「自治公民館活動」「防災・防犯教育」「青少年教育」「ボランティア活動・地域福祉活動」の8分科会を実施
 - 第2日(全体会)
「アトラクション」「表彰」「記念講演」等を実施
 - ・アトラクション：大分県警察音楽隊
 - ・記念講演：「笑って元気！豊かな人間関係を築く公民館活動とは」
講 師：矢野大和 氏
4. 参加者数 1,812名

第39回 全国公民館研究集会大分大会 第68回 九州地区公民館研究大会

分科会
報告

ここでは、大会初日に行われた分科会について御紹介します。当日は、県内外から1,725名が参加しました。

各分科会の概要(助言・まとめから)

第1分科会 「地域づくり」

〈地域課題に対応した
公民館活動の在り方〉

●時代の流れに伴い、公民館の本質は変わっていないが、役割は変わってきたのではないかと思う。幅広い世代の人々の人生を充実させる核が公民館である。



第2分科会 「家庭教育支援」

〈家庭教育支援のための
公民館活動の在り方〉

●家庭教育支援を通して、それぞれの出番が増えることで、地域の活性化にもつながっていく。そしてこのこ



とが、子どもたちの笑顔を増やし、保護者の自信を高めていくものであることを期待している。

第3分科会 「高齢社会への対応」

〈高齢社会に対応した
公民館活動〉

●高齢者の社会参加を促進するためには、活動内容の「見える化」、高齢者の知恵や技を次世代に伝承する活動、学校や家庭、地域の関係機関・団体との連携が必要である。



第4分科会 「人権教育」

〈人権を尊重し、
明るい社会づくりに向けた
公民館活動〉

●人権感覚を高めるには、部落問題など様々な人権課題について正しく知ることが欠かせない。身の回りにある人権に気づき、人権尊重を嬉しく



感じ、人権侵害を許さないという思いは人権感覚を磨くことになる。

第5分科会 「自治公民館活動」

〈豊かな地域づくりを担う
自治公民館活動の在り方〉

●それぞれの地域が持っている魅力や財産は、歴史なのか人材なのか物なのかを探って、今後の地域づくりに活かしてほしい。



第6分科会 「防災・防犯教育」

〈地域ぐるみの防災・防犯教育を
担う公民館活動の在り方〉

●当たり前の対話は感謝である。当たり前の生活を当たり前と思えば、感謝する心がなくなる。防災教育・防犯教育に携わる公民館関係者の方々に感謝している。



第7分科会 「青少年教育」

〈青少年の健全育成と体験活動を
推進する公民館活動の在り方〉

●子どもたちにどのように学びを伝えていくのかが大きな課題である。子どもの頃の体験を通して、地域を誇りに思う子どもたちを育てるための取組が各地で一層進むことを期待している。



第8分科会

「ボランティア活動・
地域福祉活動」

〈ボランティア活動や地域
貢献活動による地域の活性化を
めざした公民館活動の在り方〉

●いろいろなところでボランティアを募集しているが、普通に待っても来ることはない。ボランティアの方に「何を目的にしているか」「何をもち帰ってもらうか」ということをしっかりと明示することが大切である。



第39回全国公民館研究集会大分大会・第68回九州地区公民館研究大会に参加して



宇佐市教育委員会 社会教育課
安心院地域教育係 課長補佐(総括)

川谷 浩

大分市で開催された全国公民館研究集会大分大会兼九州地区公民館研究大会。テーマは、「地域に求められる学びをつくる公民館活動」である。一日目は、第三分科会の「高齢社会への対応」に参加した。高齢者の社会参加や地域福祉等の推進に向けて、公民館を拠点としてどのような取り組みがなされているか注目した。長崎県大村市坂口公民館では、「歌声サロン」、「井戸端サロン」、「カレーを食べよう」等に取り組み、「盆踊り大会」、「敬老会」、「夏休み子どものつどい」等の行事に参加し、「公民館だより」により広く住民に周知されている。大分県中津市の大幡コミュニティセンターの公民館サークル「ゆめクラブ大幡」では、「男性料理教室」メンバーを中心に、「演劇」が行われている。事例発表で共通しているのが、まず「やりたいことを楽しむ」、次に「つながる喜びと、地域に貢献できる充実感」。公民館が学校やPTA、子ども会、老人クラブ、婦人会等の各種団体の「つながり」の核となり、学習機会や情報を提供し、誰もが地域に貢献できる活躍の場を設定することで、高齢化社会への対応を含んだ地域を支える原動力となることを確認できた。



二日目の記念講演では、講師の矢野大和さんによるテンポのよい講話に引き込まれ、元氣と勇氣を与えていただくと共に、公民館が豊かな人間関係を築く重要拠点となることを再確認できた。



国東市国東中央公民館 館長

岐部 準次

今大会に参加してみて、改めて今後の公民館が果たす役割の重要性に気づかされた。特にその課題としてよく言われるのが発表者として参加した青少年の健全育成に関する取り組みではないだろうか。どの公民館でも多少の差はあっても子ども達との係わりは保たれていると思われる。しかし、その内容について十分に深まっているとは言えないのではなからうか。

今回発表させていただいた「発明工夫作品づくりチャレンジ」は、公民館活動の新たな方向として意義があると感じている。近年少子化の中で、子ども達を地域の行事や活動等に係わらせ、地域でも育てていくことが求められている。以前ならそれが当たり前のように日常生活で自然と育まれてきたことが、今や塾などの習い事にスポーツクラブなど忙しく、子どもにとって週末は貴重な時間であり、住民との交わりは少なくなっている。



そこで公民館として取り組めることは、他では取り組めない体験や交流ではなからうか。その一つとして当公民館が取り組んだ発明クラブの実践は意義深いと感じている。昔のように自分で遊び道具をつくったり、他学年と一緒に遊んだりできる場にもなる。また全市の小中学生を対象にしているため、小規模校の多い地区では、他校児童との交流も促進できる。準備は大変だが、指導していく中で「ものづくり」の喜びや、人としての基本的なマナーも学んでほしいと願っている。

平成29年度 大分県公民館連合会 公民館関係職員研修会 公民館新任職員研修会 公民館長・主事研修会の様子



公民館関係職員研修会

期日 平成29年5月26日(金)
会場 日出町中央公民館
参加者 県内各地の公民館関係者(自治公民館を含む)及び社会教育関係者等 97名

内容

- **講義** 「公民館における人権教育」
講師 大分県教育庁人権・同和教育課 主任社会教育主事兼主幹(総括) **川野 和人 氏**
- **説明** 「大分県社会教育委員会議による建議」
(「大分県が進める地方創生につながる社会教育のあり方について～公民館に求められる役割」)
説明者 大分県教育庁社会教育課 主任社会教育主事兼課長補佐(総括) **石井圭一郎 氏**

●事例発表・シンポジウム

「公民館が地域活性化の起爆剤になるには？」

事例1 「地域ぐるみで育てる古里を愛する心」

発表者 宗像市市民協働環境部コミュニティ協働推進課 主事 **原田 唯 氏**
宗像市吉武地区コミュニティ運営協議会 事務局長 **高山 國敏 氏**

事例2 「思いやりの心あふれる人づくり地域づくり」

発表者 日田市東有田公民館 館長 **松尾 俊明 氏**

事例3 研修参加者の皆さんから

コーディネーター

県立図書館 学校・地域支援課 地域学習支援担当 主任社会教育主事 **馬場 尚登 氏**

参加者の声から

- 事例発表は多くのヒントを得ることができ大変参考になった。
- 公民館活動の活性化に向けた方向性が見えたように思う。



公民館新任職員研修会

期日 平成29年7月28日(金)
会場 日出町中央公民館
参加者 県内各地の公民館関係者(自治公民館を含む)(原則任用後3年未満) 35名

内容

- **講義** 「公民館を創る一地域に民主主義を紡ぐ学び」
講師 日本体育大学体育学部 教授(日本公民館学会副会長) **上田 幸夫 氏**
- **協議** 「めざせ、公民館の専門家！」
- **助言者** 日本体育大学体育学部 教授(日本公民館学会副会長) **上田 幸夫 氏**
臼杵市教育委員会社会教育課 副主幹 **板井 清一 氏**
竹田市荻公民館 館長 **本田 隆憲 氏**

参加者の声から

- 職員としてなすべき仕事とは何かが理解できた。
- 講師の話から公民館の役割の原点を知ることができた。



公民館長・主事研修会

期日 平成29年10月26日(木)
会場 臼杵市民会館
参加者 県内各地の公民館関係者(自治公民館を含む)及び社会教育関係者等 53名

内容

- **講演** 「自治と文化・共同を育む公民館
～公立公民館と自治公民館との連携のあり方」
講師 熊本大学教育学部 准教授 **山城 千秋 氏**
- **講義・演習** 「身近な環境で考える防災・減災
～公民館に求められる防災対策」
講師 大分大学理工学部 准教授(大分大学減災・復興デザイン教育研究センター代表) **小林 祐司 氏**

参加者の声から

- 自治公民館との関わり方をテーマとしたのがよかった。
- 日常的なリスクマネジメントについて深く考える機会となった。



相互の連携を推進!

豊肥・佐伯地区公民館連合会（以下、「豊佐公連」という。）は、公民館相互の連携を推進し、職員の高質の向上を図るとともに、公民館活動の振興発展に寄与することを目的に活動している。平成29年6月に総会を行い、「職員数が減少する中ではあるが、今年も全国公民館大会もあり、お互いに連携して頑張っていこう」との会長の力強いあいさつで取り組みをスタートした。

8月の第39回全国公民館研究集会大分大会では、「地域づくり」と「人権教育」について事例発表を行った。「地域づくり」では佐伯市が、人と人とのつながりを大切にしながら地域づくりに公民館がどのような形で取り組んでいくかを、「人権教育」では豊後大野市が、人権が尊重されたまちづくりに公民館がいかに取り組んでいくかを参加者とともに考えた。



竹田市立図書館での研修会



直入公民館での事例発表

9月には豊佐公連会員30名が参加して竹田市で研修会を行った。まず、平成29年5月に開館した「竹田市立図書館」を視察。自然光をふんだんに取り入れた建物は、利用者との距離感が近く、サービスカウンターを紹介したFace to Faceの人間関係と家庭的な雰囲気が特徴的であった。隣の豊後大野市も平成32年度オープンを目指して新図書館・資料館建設を進めており、大変参考になった。直入公民館では「世界に冠たる長湯温泉を活用した直入町の公民館活動」と題して林館長から貴重な事例発表をしていただいた。

今年度は諸事情で交流会が中止になったのが残念であるが、今後も3市で連携・連絡しあう機会を増やし、公民館活動の充実・発展に努めたい。

豊肥・佐伯地区公民館連合会
豊後大野市教育委員会

園田 孝吉

九重から二つのえへ 九重町公民館発

地域情報誌 BASARE

九重町には東飯田、野上、飯田、南山田と4つの地区公民館がある。もともと地区公民館にいた嘱託館長に代って、平成25年度から町の職員が配置された。地域の中で町の職員が公民館職員としてできることは何か。それぞれの業務の傍ら、自分たちの存在感を発揮できる方法を模索した結果、情報誌「BASARE（バサレ）」という形にたどり着いた。

公民館発の地域情報誌「BASARE（バサレ）」は、「九重からこのえへ、しあわせのおすそわけ」をテーマに、ふだん着姿のたくさんのおいしいもの・いい人を町の人が発見し、まちの人へと伝えるフリーペーパー。（※バサレとは、大分の方言で「たくさん」という意味）この取り組みはまた、公民館職員が地域に出るときのツールとしての側面がある。そのため、掲載内容の企画、取材、写真撮影、テキストの執筆まで公民館職員と一般の参加者で行い、その後デザイナーと協議を重ねながら紙面を作っていく。デザイナーは八女市でまちづくりに参画しており、紙面のレイアウトや装飾だけにとどまらず、地域の巻込みや心構えなどといったまちづくりの要素についてのアドバイスももらいながら共同で作業を進める。



BASAREの誌面から「地域で活躍する人たち」

取材を通して、私たち職員自身もそれまで知らなかった地域の人材に巡り合い、優れたデザイナーの冊子を発行することにより多くの人々にその魅力を伝えることができています。そういった出会いの一つ一つが、お互いに少しずつ化学反応を起こしながら、地域の魅力を高めるエネルギーに変わりつつある。

日田地区公民館連合会
九重町教育委員会（南山田公民館）

後藤 大



取材風景

わがまち公民館

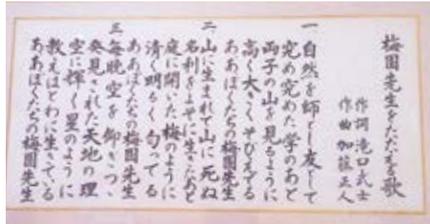
国東市 西武蔵地区公民館

国東市西武蔵地区公民館
館長 石川 祥一郎

西武蔵地区は国東半島中央、両子山の南に位置している。両子・富永・恒清・糸永の4区があり、世帯数253・人口533名・高齢化率58.1%（平成30年1月末現在）の典型的な過疎地域である。小学校・中学校・市の出先（支所）もなく、ガソリンスタンドやコンビニもない。しかしながらこの地は日本が世界に誇る哲学者三浦梅園先生（1723年～1789年）の生誕の地であり、西武蔵地区公民館の最優先行事は今年230回目となる梅園祭である。会場は宿泊施設のある「梅園の里」で、



梅園祭の会場風景（祭壇）



梅園先生をたたえる歌

牌を持参、祭主（梅園会会長・公民館長）祭文奏上、読経・焼香の後、地区出身の小学生を中心に全員で「梅園先生をたたえる歌」を合唱する。第二部（記念行事）では来賓あいさつ、梅園文化財愛護少年団児童作文の発表、梅園記念書道展（安岐町の小学校・中学校より出展・短歌会の表彰・梅園詩吟同好会による詩吟発表、3人体操発表、安岐中学校吹奏楽部演奏、記念講演（今年は大野大和さんの講演）等が行われる。なお、会場内には、梅園記念書道展・梅園短歌会・れんげい俳句会・七島園工芸教室の作品展が展示されている。梅園祭は12時過ぎに終了するが、午後は別会場で梅園杯グートボール大会や梅園短歌教室短歌会が行われる。

5年後の2023年は梅園先生生誕300年を迎えるが、地区住民をはじめ数多くの梅園先生をお慕いする人々や市当局及び文化財行政の担当者の方々とともに取り組みたいと思っている。

津久見市公民館

津久見市教育委員会
生涯学習課
主幹 國次 弘道



フレスコ画教室



男性舞踊自主教室

津久見市公民館は、中央公民館の機能を兼ねた唯一の市設置公民館である。

集い・学び・結び、地域力を高めることとして、昭和39年に開館、昭和50年に現在地に新築移転、今に至る。

はっきり言って、館自体、古く、狭小、また駐車場も少なく、活動も決して他所に誇れるものはない。

しいて言えば、挨拶と笑い声。

朝から晩まで、館内に「おはようございます・お願います・ありがとうございました、ワッハッハ」が響き渡る。

そんなわが館が、現在力を入れて取り組んでいるのは、津久見市の再発見、伝統文化の継承、そして主に男性の参加を促す講座である。今回はその中から2つの講座を紹介する。

①「フレスコ画教室」は、津久見の資源「石灰」を使って描く絵画教室。完成作品は、毎年夏休み期間中「つくみイルカ島」に展示している。とくに29・30年度は国民文化祭に向け、大型の作品を作成、またその予定。

②「男性舞踊自主教室」、その存在は県内でも珍しい。教室生の中には自治区の代表・世話役が多く、公民館まつりはもとより、地域での敬老会やふれあいサロン、また介護施設等で披露。なかなかの人気を博している。

今後も仲間づくり・人づくりの場として、みなさんから、活用しやすい、く、また、親しみのある公民館になるべく努めていきたいと思います。

中津市三光地区公民館

合併後、機構改革などにより、三光地域の自治公民館の連絡協議会が閉会した。これまでの三光公民館を支える組織が無くなり、地域全体の今後を考えると、人と人、地区と地区とのつながりもこれまで以上に薄くなるのではないかと危惧されるようになってきた。

そこで、新たに三光公民館運営委員会が設立され、三光地域の地域課題に対応していくことになった。その地域づくりの事始として、スローガン「めざそう！あいさつ世界一」のもと、公民館運営委員会が中心となり、1中学校、4小学校、15自治区において、運動を展開している。具体的には、「あいさつ応援隊」を組織し、各校を回ってPR活動を活発に行いながら、三光地域のシンボリックな山「八面山」にちなんで、毎月8日を「三光あいさつの日」に指定し、毎月の告知放送により地域住民全体でスローガンを共有している。また、「あいさつ」は人と人をつなぐコミュニケーションの大切なひとつであるという意識を高めるために、「あいさつ標語を児童生徒、住民から募集した。さらに、全国的に著名な菊池省三氏を招いて、「あいさつから生まれるコミュニケーション」をテーマとした講演会を開催し、住民の意識の醸成を図る取組を行っている。

住民が自分の住む地域の課題に向き合い、今と今後を深く考えながら、自ら実行組織を立ち上げ実践する住民主導の取組となっている。



三光公民館運営委員会



あいさつ応援隊PR活動

第29回 全国公民館セミナーに参加して

平成30年度より文科省生涯学習政策局から「社会教育」の名前がつく部署が無くなる。社会教育の実践の場である公民館も少しずつだが大きく変化すると予測されるため、今後の方向性について学ぶ必要があると考えセミナーに参加した。

ハードルが高い。(もともとこれは、入場者数で公民館の価値を図るものさしと、そのために実施される娯楽的政策が長く続いたことが影響していると考えている)

また別の事例発表では「公民館に来てもらうため若者に話を聞くと、「興味がない」

講義では、「元々公民館は地域住民が事業をおこなう場であり行政はその場を保証すればいいのだが、いつの間にか事業をおこなうのが公民館の仕事になっていく」「公民館に観客は一人もない(全員が参加する)」など、公民館の現状とはかけ離れたキーワードが出てきた。「公民館の主役は住民である」という

「公民館の存在を意識したことがない」など、若者の生活には「根本的に公民館が必要ではない」という意見が出され、「公民館が若者に何を提供できるか」という視点で事業を見直した」との報告もあった。(そこでは施設の大画面でゲームを楽しむ企画などをしたそうである)

元々の理念と現在の状況が乖離していることは経験上わかってはいたが、改めてこの溝をすぐに埋められるかと考える

（野津中央公民館でも「若者が自主的に参加する事業」が10年近く続いているが、その事例については別の機会にご報告したいと思う）

今回のセミナーに参加して、公民館を取り巻く環境(常識という概念を含む)が変化していく中、公民館の基本的理念や法律を守りつつ、常識として規制されていることを緩和する動きが全国的にはすでに始まっていると感じた。私自身も考えさせられる有意義な研修であったと思

白杵市野津中央公民館



シンポジウム



ワークショップ

主幹 長田 大輔

お知らせ

表彰

大分県公民館連合会表彰

【優良公民館表彰】

国東市朝来地区公民館

【優良職員表彰】

豊後高田市真玉公民館

豊後高田市香々地公民館

大分市敷戸校区公民館

公民館主事

竹田市中央公民館宮砥分館

分館長

竹田市中央公民館姫岳分館

分館長

竹田市中央公民館岡本分館

分館長

【勤続職員表彰】

大分市下郡校区公民館

館長

臼杵市野津中央公民館

館長

日田市高瀬公民館

主幹

日田市二芳公民館

館長

日田市天瀬公民館

館長

【公民館運営審議会委員表彰】

大分市大分南部公民館

館長

大分市植田公民館

館長

大分市坂ノ市公民館

館長

豊後大野市中央公民館

館長

日田市前津江公民館

館長

日田市大山公民館

館長

九重町中央公民館

館長

広報コンクール表彰

【公立公民館報の部】

◆優秀賞

九重町中央公民館

「BASARE〜九重からこのえへ〜」

佐伯市米水津地区公民館
「公民館だより『よのうづ』」
佐伯市上浦地区公民館
「上浦地区公民館だより」

◆優良賞

宇佐市深見地区公民館
「深見地区公民館だより」
別府市南部地区公民館
「南部地区公民館報 さわか」

【自治公民館報の部】

◆優秀賞

別府市鶴見町
「鶴見町自治会公民館だより」
別府市中須賀東町自治会
「つくし」
大分市津留地区公民館
「コミュニケーションだより」

◆優良賞

別府市中須賀元町自治会
「中須賀元町だより」
別府市原町自治会
「はらまち」

【ポスター・チラシの部】

◆優秀賞

大分市日岡中央公民館
「公民館のお知らせ」
「校区文化祭」
「元氣一番健康講座」

平成30年度事業の予定

大分県公民館連合会関係

諸会議

第1理事会

期日：4月25日(水)

場所：大分市(県庁舎)

議事：29年度事業報告、30年度事業計画等

総会

期日：5月29日(火)

場所：別府市公会堂

議事：29年度事業報告、30年度事業計画等

第2回理事会

期日：7月25日(水)

場所：大分市(県庁舎)

議事：第69回大分県公民館研究大会

大分県公民館連合会表彰等

各地区公民館連合会会議

期日：随時

場所：県内5箇所

内容：県内5地区で実施

各地区公民館連合会研修会

期日：随時

場所：県内5箇所

研修

大分県公民館関係職員研修会

期日：5月29日(火)

場所：別府市公会堂

大分県公民館新任職員研修会

期日：7月6日(金)

場所：県立図書館

大分県公民館長・主事研修会

期日：8月20日(月)

場所：県立図書館

第69回大分県公民館研究大会

期日：10月4日(木)

場所：佐伯文化会館・三茶館

表彰

大分県公民館連合会表彰

期日：10月4日(木)

場所：佐伯文化会館

※第69回大分県公民館研究大会において表彰

情報提供

機関誌「ひろば」発行

期日：31年3月

ホームページによる情報収集提供

期日：随時

九州公民館連合会関係

第1回会長会

期日：4月19日(木)

場所：沖縄県那覇市

議事：会長等役員選出

第1回理事会

期日：4月19日(木)

場所：沖縄県那覇市

議事：会長等役員選出

第30回全国公民館セミナー

期日：1月下旬

場所：東京都

※本県公連から1名を推薦

議事：29年度事業報告・決算報告、30年度事業計画・予算案等

第2回会長会

期日：11月14日(水)

場所：沖縄県那覇市

議事：九州公民館連合会役員表彰、九州地区公民館研究大会沖縄大会等

第2回理事会

期日：11月14日(水)

場所：沖縄県那覇市

議事：九州公民館連合会役員表彰、九州地区公民館研究大会沖縄大会等

第69回九州地区公民館研究大会沖縄大会

期日：11月15日(木)～16日(金)

場所：沖縄県那覇市

大会テーマ：「地域のつながりを支える公民館活動を目指して」持続可能な地域活動を考える」

事務担当者会

期日：1月17日(木)

場所：佐賀県佐賀市

議事：30年度事業報告・決算見込、31年度事業計画・予算案等

公益社団法人全国公民館連合会関係

期日：6月上旬

場所：東京都

議事：29年度事業報告・決算報告、30年度事業計画・予算案等

第40回全国公民館研究集会東京大会

期日：11月1日(木)～2日(金)

場所：日本青年館(東京都)

大会テーマ：「公民館がひらく日本の未来」地域性・個性を活かした新しい公民館活動を」

全国公民館連合会表彰

期日：11月2日(金)

場所：日本青年館

※第40回全国公民館研究集会東京大会において表彰

第30回全国公民館セミナー

期日：1月下旬

場所：東京都

※本県公連から1名を推薦